TOKAI RIKA

PRESS RELEASE

2006 年 8 月 28 日

株式会社 東海理化
（登記社名：株式会社 東海理化電機製作所）

光触媒を利用して薬品投入ゼロでコージェネ冷却水を除菌する装置を共同開発

株式会社東海理化（愛知県丹羽郡大口町、取締役社長：木下　潔）は、今回、株式会社松村石油研究所（兵庫県神戸市中央区　取締役社長：中野　正徳）と共同で光触媒式除菌装置を開発し、当社本社工場のコージェネレーション用冷却システムへ導入することで、薬品を投入することなく冷却水の除菌処理を可能としました。

この技術は、今まで薬品投入により行っていた冷却水処理を、光触媒反応(光が当たると、強い酸化力を生じ、触媒表面の有機物質を分解する反応)を利用して除菌処理をする装置と、高周波反応（高周波によって抗酸化のマイナスイオンを発生させる反応）を利用して水中の硬度成分の固体化を防ぐ装置を組み合わせることで、薬品投入と変わらぬ効果を得ることができます。この技術により、薬品投入量はゼロとなり、薬品を年間 1,200kg 削減することができます。

今回共同開発した光触媒式除菌装置は光を利用した安全な反応であるため、取扱は容易となり、冷却水もより自然に近い状態になります。

＜光触媒式除菌装置の特徴＞

① 光触媒を塗布したスクリュー型の羽根を多層配列することで、反応面表面積を最大化し、装置を小型化（従来比：1/3）

② 光触媒は繰り返し再生可能で半永久的に利用できるため経済的

当社は今後も新技術を取り入れた人にも環境にもやさしい装置の研究・開発、導入を積極的に進め、環境負荷物質削減、総廃棄物削減に積極的に取組みながらクリーンな工場作りを目指していきます。

▼ 今後の導入計画

０６年度末までに本社工場すべてに展開

０７年度末までに当社他工場すべてに展開

以　上

◆ 本件に関するお問い合わせ先
総務部広報室　℡：０５８７－９５－８１９２